

中之島ガーデンブリッジ



錦橋



水晶橋



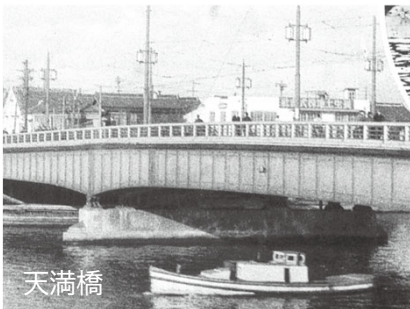
本町橋

『水都大阪ブリッジテラス』について

現代版の「町橋」制度づくり ～民間主体による橋のマネジメント～

大阪の橋は

- 江戸時代の寛永の頃、大阪には“八百八橋”と形容される多くの橋が架けられました。そのうち市内の重要な橋は公儀橋と呼ばれ、幕府が直轄管理をしており、その代表が高麗橋や“なにわの三大橋”と呼ばれた天満橋・天神橋・難波橋でした。そのほかの橋は**町橋**と呼ばれ、商人や町人が費用を出し、みずから築いて管理していました。費用は橋に近い町ほど多く、遠ざかるにつれて少なくなるという合理的なものでした。



天満橋



天神橋



難波橋

現代版の「町橋」制度とは

- 昔に橋筋の町々が担ってきた町橋の仕組みやムーブメントを継承すべく、民間が活動しやすい既存制度の導入ならびに民間主体による橋での活動・マネジメントを通じて、公民それぞれが有する地域の問題解決や橋の魅力向上を図り、エリアの価値を高めていくことを目的としています。

現代版の「町橋」制度

